

バッテリーの取り扱いに関しまして

本書にはバッテリーをご使用いただく上で、ご注意いただきたい点を記載しております。大切に保管の上、安全な運用にお役立てください。

リチウムイオン電池の特性、性能などについて

- ▽新品のバッテリーは2～3回の充放電後に最高の性能を発揮します。
- ▽使用頻度・回数に応じてバッテリーは劣化し、充電可能容量が減っていきます。
- ▽保管中の自然放電により過放電となる場合がございます。過充電・過放電はバッテリーの膨張、充電可能容量の大幅な減少など、故障や劣化の原因となりますのでご注意ください。
- ▽バッテリー残量や性能は高温や低温時に著しく低下します。望ましい利用適正温度は15度～25度です。
- ▽屋外環境下（高温、低温、直射日光が当たる場所など）での利用時には通常よりも短い時間での利用になる場合があります。
- ▽極端な高温・低温下ではバッテリーが一時的にシャットダウンすることがあります。

リチウムイオン電池の充電に関して

- ▽ストロボ液晶、バッテリー上の表示を参考に、残量が50%以下の場合は早めの充電をおすすめします。
- ▽使用後は10分程度の冷却時間を設けてから充電して下さい。
- ▽充電器をコンセントに繋いだ後に電池と接続して下さい。
- ▽充電は乾燥した可燃物の無い場所で行ってください。
- ▽専用充電器以外の充電器は使用しないで下さい。
- ▽充電器上のLEDで充電状態を確認し、充電完了後は速やかに取り外して下さい。過充電・過放電はバッテリーの膨張、充電可能容量の大幅な減少など、故障や劣化の原因となりますのでご注意ください。

リチウムイオン電池の取り扱いと保管について

- ▽保管中、自然放電により過放電となる場合がございます。3ヶ月に1回は充放電のサイクルを行い、満充電にしてから保管してください。過充電・過放電はバッテリーの膨張、充電可能容量の大幅な減少など、故障や劣化の原因となりますのでご注意ください。
- ▽電池を分解・改造しないで下さい。
- ▽電池の接点を短絡させないで下さい。
- ▽水や火の中に電池を廃棄しないで下さい。
- ▽車中等、高温や低温環境にさらさないでください。
- ▽電池に過度の衝撃や振動を与えないでください。
- ▽他の目的のために電池は使用できません。
- ▽涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ▽子供の手の届かないところに保管してください。
- ▽バッテリーは有害物質を含むため、使用済みのバッテリーは必ず各自治体の規定に基づいた廃棄方法に準じて廃棄処理を行ってください。
- ▽バッテリー単品の運搬時、廃棄時には金属端子部分に絶縁テープを貼り付けるなど、回路がショートしないようにして下さい。